

## ■12月18日

国交省、春秋航空日本(LCC)、航空運送事業を許可、来年5月末から運航開始

国交省は17日、中国の航空会社などが設立した格安航空会社(LCC)「春秋航空日本」に、航空運送事業の許可証を交付した。国内線を運航するLCCとしては4社目。

春秋航空日本は2014年5月末から成田—高松、成田—佐賀、成田—広島の新路線を1日2往復の運航を始める計画。既に客室乗務員などを採用し、就航準備を進めている。使用機材はボーイング737-800型(189席)で就航開始時に3機を揃える。

同社に33%を出資する中国のLCC、春秋航空は現在、上海発着で茨城、高松、佐賀の国際線3路線を運航している。春秋航空日本の国内線就航により、中国からの訪日旅行者の乗り継ぎで利便性を高めたい考えだ。

(時事ドットコム)12/17

[http://www.jiji.com/jc/c?g=soc\\_30&k=2013121700766](http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&k=2013121700766) (-> [http://www.jiji.com/jc/c?g=soc\\_30&k=2013121700766](http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&k=2013121700766))

(国交省プレスリリース)12/17

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku04\\_hh\\_000090.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku04_hh_000090.html) (->

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku04\\_hh\\_000090.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku04_hh_000090.html))

(産経ニュース)12/17

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/131217/bsd1312171818015-n1.htm> (->

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/131217/bsd1312171818015-n1.htm>)

(日刊航空)12/18

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

日本とASEAN間で単一の「地域航空協定」の締結を検討

外務省は14日、東京で行われた日・ASEAN特別首脳会議の共同声明を発表した。この中で、「日本・ASEAN間の単一の地域航空協定の締結に向けて検討することとで一致した」と盛り込んだ。日本ではこれまで、外国との航空協定については、二国間交渉によって決めてきたが、ASEAN加盟10カ国と航空協定のマルチ化を検討することになりそうだ。

一方、国交省交通大臣の太田昭宏氏は17日の定例会見で、日本とASEAN間で単一の「地域航空協定」の締結に向けた検討を進めることを明らかにした。国土交通省航空局によると、ASEANでは2015年を目標として航空市場の統一が進められており、今回の地域航空協定はこれを前提としたもの。現在は、オープンスカイで合意している国もある一方、カンボジアとラオスでは航空協定自体の締結もできていない状態だが、地域航空協定の実現に向けてはオープンスカイを念頭に置く。

(日刊航空)12/17 12/18

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/report/20131217/257161/?P=3> (->

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/report/20131217/257161/?P=3>)

(トラベルビジョン)12/17

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59970> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59970>)

スターフライヤー、福岡—関空線2月運休、福岡—中部線開設を計画

スターフライヤーは、福岡—関西線を来年2月で運休し、3月から新たに福岡—中部線に1日3往復で就航する方向で最終調整している事が分かった。現在関空線は、今年10月に就航し1日4往復しているが、新幹線や格安航空会社(LCC)との競争が激しく、同月の搭乗率が5割にとどまるなど利用が伸び悩んでいた。毎日新聞が報じた。

同社は先月、業績悪化を受けて北九州—韓国・釜山線を来年3月で運休し、希望退職者を募集する経営合理化計画を

発表した。路線の見直しも検討事項に含まれており、福岡空港を拠点に飛行機を運用しながら、一定の需要が見込める就航先として中部を選定したとみられる。

(毎日新聞)12/17

<http://mainichi.jp/select/news/20131218k0000m020102000c.html> (->  
<http://mainichi.jp/select/news/20131218k0000m020102000c.html>)

静岡県、静岡空港、運用時間2時間延長を提案

(中日新聞によると)

県は16日、静岡空港の運用時間を二時間延長する方向で地元住民や自治体と協議を開始する方針を明らかにした。県議会文化観光委員会では服部真樹理事が答えた。来春から八機体制となるフジドリームエアラインズ(FDA)が、県に運用時間の延長を要請していた。

静岡空港の運用時間は現在、午前七時半～午後八時半の十三時間。服部理事は「FDAの八機化などを考えると、今の運用時間のままでは効率的に機体運用ができない」と述べ、午後十時半ごろまで二時間程度延長する意向を示した。県と地元住民や自治体が協定を結んで運用時間を決めているため、県は近く協議を始める。

(中日新聞)12/17

<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20131217/CK2013121702000045.html> (->  
<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20131217/CK2013121702000045.html>)

(->)

米子空港、カウンター施設改修工事終了、20日のスカイマーク就航に合わせて

米子鬼太郎空港は16日、スカイマーク便の20日からの就航に合わせて4カ所の改修工事が終了した。同空港を管理する米子空港ビルが10月下旬から、鳥取県の補助を受け約9千万円をかけて工事していた。

空港ビル2階の保安検査場は、従来の区画を二つに分けて1ラインから2ライン化。全日空便とスカイマーク便が重複する時間帯も円滑に検査できる。搭乗待合室は、免税店をロビー側に移設することで33平方メートル拡張。

2基ある旅客搭乗橋(長さ38メートル)のうち1基を老朽化に伴い更新した。また、ビル1階には、スカイマークのカウンターを整備。同社は自動チェックイン機5台を設置した。

スカイマークの米子発着便は、成田線、神戸線が1日各2往復、茨城線が同1往復(神戸経由)就航。予約状況は16日現在、成田発は28、29、30日が満席。茨城発(米子割り当て分)は28、29日が満席となっている。

(日本海新聞)12/17

<http://www.nnn.co.jp/news/131217/20131217001.html> (-> <http://www.nnn.co.jp/news/131217/20131217001.html>)

中国南方航空、新千歳－広州線開設、1月28日から週4便

中国南方航空は17日、来年1月28日から新千歳と広州を結ぶ定期便を就航させると発表した。使用機材はボーイング777型機(374席)とボーイング737—800型機(159席)で、週4便(火、水、土、日曜日)運航する。道内と広州を結ぶ定期便の運航は初めて。

同社は新千歳と大連を結ぶ定期便を運航していたが、昨年10月に運休していた。沖縄県・尖閣諸島を巡る日中関係の悪化を機に道内を訪れる中国人観光客は急減したが、ここにきて回復傾向にある。

(日経)12/17

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC17018\\_X11C13A2L41000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC17018_X11C13A2L41000/) (->  
[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC17018\\_X11C13A2L41000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC17018_X11C13A2L41000/))

航空6社、沖縄関連路線、11月搭乗実績、旅客者数前年同月比1.8%増

沖縄関係路線を就航する航空6社(除くLCC)の11月搭乗実績は、旅客者数は前年同月比1・8%増の127万7154人。提供座席数は4・5%増の182万8977席だったことが分かった。

沖縄タイムスのまとめによると

- ・全日空は0・6%増の59万4587人。提供座席数は1・6%増の83万1521席。羽田線が前年より1便増便し、旅客者数も微増した。
- ・日航は2・4%減の24万1777人。提供座席は2・7%減の32万3401席。機材変更などで前年実績を下回った。
- ・日本トランスオーシャン航空は5・9%減の23万7663人。提供座席数は3・8%減の32万8160席。昨年、宮古と石垣で開かれた県民体育大会の反動減と、宮古線の減便が影響した。
- ・琉球エアークommuterは15・6%増の3万2095人。提供座席数は14・2%増の4万4830席。JTAからの石垣-与那国線の移管が主な要因。
- ・スカイマークは24・5%増の13万3597人。提供座席数は38・9%増の23万8773席。石垣関連路線の新設などで、前年実績を上回った。
- ・ソラシドエアは31%増の3万7435人。提供座席数は34・1%増の6万2292席。神戸線の新設が主な要因だった。

(沖縄タイムス)12/18

<http://www.okinawatimes.co.jp/article.php?id=59037> (-> <http://www.okinawatimes.co.jp/article.php?id=59037>)

スカイチーム、ガルーダ・インドネシア航空、来年3月5日加盟

スカイチームは、2014年3月5日に、ガルーダ・インドネシア航空が加盟すると発表した。

インドネシアの国営航空会社であるガルーダ・インドネシア航空は20番目、東南アジアでは2番目のスカイチーム加盟航空会社となる。

(レスポンス)12/17

<http://response.jp/article/2013/12/17/213153.html> (-> <http://response.jp/article/2013/12/17/213153.html>)

(スカイチーム プレスリリース)

<http://www.skyteam.com/ja/About-us/2/News/2013/6/> (-> <http://www.skyteam.com/ja/About-us/2/News/2013/6/>)